

# 「私たちの最悪は神の最善」

主任牧師：重田 稔仁

<メッセージ>

私たちの最悪は神の最善

マルコ 1:12~13

私たちクリスチャンの祝福とは何か。

それは私たちを愛しみ慕い求める神の呼びかけに応答して生きることです。

人が神の愛しみに生きることを可能にするのは御霊の導きです。

御霊に導かれて生きるとき人は、神のみ心を損なう悪魔サタンの試みに打ち勝つことができます！

神のみ心を損なう悪魔の試みとは？

それは…私たちに神の愛しみを疑わせ否定させる悪魔の誘惑です。

主イエスは私たちのために、私たちに代わってこの悪魔の試みを打ち砕くために荒野に導かれました。

「お前と女、お前の子孫と女の子孫の間に わたしは敵意を置く。 彼はお前の頭を砕き  
お前は彼のかかとを砕く。」

創世記 3:15 新共同訳

何故、荒野か、

荒野は、荒寥とした岩地に覆われた世界です。そこは人間の弱さ(肉体的、精神的弱さ)があらわにされる私たち人間にとって最悪の場所です。

今朝は、御霊に送り出されて荒野で40日間過ごしたイエス様の体験から最悪の状況を最善に変えてくださる神の愛しみについて皆さんと一緒に思い巡らしてみたいと思います。

聖書朗読

「それから、“霊”はイエスを荒れ野に送り出した。 イエスは四十日間そこにとどまり、サ

タンから誘惑を受けられた。その間、野獣と一緒におられたが、天使たちが仕えていた。」  
マルコによる福音書 1:12-13 新共同訳

#### 参照テキスト

マタイの福音書 4:1～11

「さて、イエスは悪魔から誘惑を受けるため、“霊”に導かれて荒れ野に行かれた。そして四十日間、昼も夜も断食した後、空腹を覚えられた。すると、誘惑する者が来て、イエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではない。神の口から出る一つ一つの言葉で生きる』と書いてある。」次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、言った。「神の子なら、飛び降りたらどうだ。『神があなたのために天使たちに命じると、あなたの足が石に打ち当たることのないように、天使たちは手であなたを支える』と書いてある。」イエスは、「『あなたの神である主を試してはならない』とも書いてある」と言われた。更に、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその繁栄ぶりを見せて、「もし、ひれ伏してわたしを拝むなら、これをみんな与えよう」と言った。すると、イエスは言われた。「退け、サタン。『あなたの神である主を拝み、ただ主に仕えよ』と書いてある。」そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが来てイエスに仕えた。」

マタイによる福音書 4:1-11 新共同訳

#### 本論

悪魔は40日間の断食で身も心も擦り切れていたイエス様を<神のことば>を用いて誘惑しましたが、その試みは巧妙かつ合理的なものでした。

1:神の子なら石をパンに変えて己れを救え。自己顕示欲に訴える誘惑

イエス様の返答

人はパンのみで～

2:神の子なら、高いところから飛び降りても神がその命を守るはず

<自己中心的生き方をうながす誘惑>

イエス様の返答

神を試みてはならない～

3:神の子なら、この世の支配者となれ

<世を救うために十字架の道ではなくこの世の権力への誘惑>

イエス様の返答

神のみを礼拝せよ～神のみ心の成就こそ最重要ミッション

今あげた悪魔の誘惑はイエス様の何に対してチャレンジしたのか？

悪魔は神の愛しみではなく、己れ自身、己れの力に頼れとイエス様に迫った。それはイエス様が神の召命に生きるのではなく、己れの欲望に従って生きるようになるために。

しかし、イエス様は冒頭で朗読した聖句にあるように悪魔の誘惑を神のことばによって退けました。イエス様がそうなさったのは、イエス様が御霊によって神の召命、すなわち「あなたは、私の愛する子私は、あなたを喜ぶ」という神の呼びかけにその心を傾けていたからです！

まとめ

イエス様の生涯は初めから終わりまで神の愛がその原動力となっています。それは救い難い罪人、赦し難い罪人を徹底的に赦救う神の無償の愛です。

この神の愛を証しするのが、御霊の導きです。御霊の助けによってイエス様は、荒野という人間にとって最悪の状況を最善の場所としたのです。

それは

〈獣たちと共にいながら、天使たちがイエス様に仕えていたと。〉福音記者ルカが証し、旧約聖書の預言者イザヤが預言したように。

「狼は小羊と共に宿り 豹は子山羊と共に伏す。 子牛は若獅子と共に育ち 小さい子供がそれらを導く。 牛も熊も共に草をはみ その子らは共に伏し 獅子も牛もひとしく干し草を食らう。 乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ 幼子は蝮の巣に手を入れる。 わたしの聖なる山においては 何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。 水が海を覆っているように 大地は主を知る知識で満たされる。」

イザヤ書 11:6-9 新共同訳

イエス様の体験は、私たちに何を証しているか。それは、人生最悪の状況にあっても私たちが神の愛しみに生きるなら、荒野という最悪の状況ですら神のみ国になるという神の祝福です。

これがイエス・キリストの福音です！

イエス様は、罪と悪が満ちる地上に

今申し上げた神の祝福をもたらすために 2000 年前にこの世にお生まれになったのです！

証し

先日、立て続けに二人の牧師とお会いしてお交りしました。二人とは殆ど初めましての感じでしたが。

一人は、赴任した教会が前任者の指導者の口にするのもおぞましい悪行によって大半の教会員が牧師、教師に不信感に陥り牧会が機能不全になってしまった状況で奮闘、苦闘しておら

れる牧師でした。

二人目は、愛する息子が対人関係が下手で仕事やプライベートが行き詰まりとうとう薬物に手をだした結果、家庭がバラバラになってしまったことで苦悩する牧師でした。

涙ながらに悲しみ、痛みをあるがまま、正直に分かち合ってくれた二人の牧師たちでしたが、不思議とお二人から自己憐憫の感情や残念感を一切、感じませんでした。むしろ人間的、靈的に最悪の状況にある二人からは他者への優しさや温もり感じたほどでした。その理由について二人と別れたあとあれこれ考えていたとき、ふと気づいたのです。それは…二人とも最悪の状況にあって神の愛しみに心を傾けて生きておられる！と。

二人ともこの世の成功、人の評価ではなくイエス様にある神の召命に生きることによる喜びを見出しておらると！

私たちにとって最悪の状況は、神にとって最善の状況です。

私たちがこの世に対して失望すればするほど神は一層、私たちにご自身の愛しみを明らかにし私たち人間にとって一番大切なことは何か!?気づかせてくれます。

みなさん、神の召命に生きる幸いを今年のクリスマスの時期、改めて共に味わわせて頂きませんか。イエス様はあなたや私が神の愛しみに生きるために、この世にお生まれになり、十字架にかかって死んで3日目に蘇り、今もなお私たちと共に生きておられます！